

勉誠出版

中古文学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: 81849c1d4d
(期限: ~2021年6月30日)

謹啓

春陽の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 81849c1d4d (期限: ~2021年6月30日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**(※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
中古文学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



勉誠出版 注文書

ご送付先(氏名・住所・電話番号)

Email info@bensei.jp FAX 03-5215-9025

通信欄 ※お支払い方法(公費・私費)、必要書類はこちらにご記入ください

※割引クーポンコード: **81849c1d4d** (期限: ~2021年6月30日)
 こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!
 ※注文書に記載のない書籍につきましても弊社書籍は全点2割引にて承ります。
 ※近刊の本体価格はすべて予価です。

※表示価格には別途消費税がかかります。
 ※ISBNは978-4-585と末尾のチェックデジットを省略しています。

書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	割引価格	冊数
◆近刊(ご予約受付中!)						
【ライブラリーぶっくす】変化する社会とともに歩む学校図書館	野口武悟 著	2021/4	20081	2,200	1,900	
ベトナム語空間ダイクシ スとその展開—指示詞から文末詞・感動詞へ(仮)	安達真弓 著	2021/4	38001	10,000	8,800	
社甫研究年報 第四号	日本社甫学会 編	2021/4	39444	2,000	1,800	
首里城を解く—文化財継承のための礎を築く(仮)	高良倉吉 監修/島村幸一 編	2021/5	32001	3,800	3,300	
中世寺院の仏法と社会(仮)	永村真 編	2021/5	31001	12,000	10,600	
勤番武士の江戸滞在記 —国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治 編	2021/5	32000	10,000	8,800	
坂口安吾大事典(仮)	安藤 宏・十重田裕一・大原祐治 編集代表	2021/5	20079	15,000	13,200	
もう一度読みたい古典文学(仮)	三宅晶子 編	2021/5	39001	2,400	2,100	
大宅壮一文庫解体新書 —雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/5	30001	3,500	3,100	
【鉄幹晶子全集40】鉄幹晶子全集 別巻8 —拾遺篇 書誌・年譜	逸見久美ほか 編	2021/5	01093	9,000	7,900	
中国の都市の記憶(仮)	和田博文・李 征・王 志松・高 潔 編	未定	未定	未定	未定	
◆事典・総記						
江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司 編	2021/3	20080	12,000	10,600	
文化情報学事典	村上征勝 監修	2019/12	20071	18,000	15,800	
◆歴史・文化財・美術史・思想史						
古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/1	22277	3,000	2,600	
増補改訂新版 日本中世史入門—論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/2	22280	3,800	3,300	
古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編 国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	22272	7,800	6,900	
日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	20073	7,000	6,200	
古文書研究 第90号	日本古文書学会 編	2020/12	22417	3,800	3,300	
渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民 編	2021/2	22289	14,000	12,300	
古代の日本と東アジア 人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/7	22279	10,000	8,800	
新羅中前期の史的探究	武田幸男 著	2020/7	22278	12,000	10,600	
大嘗祭—隠された古暦	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編	2021/1	21057	3,800	3,300	
中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/2	22300	9,500	8,400	
戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/2	22301	9,000	7,900	
金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集	永井晋 編	2020/9	22288	10,000	8,800	
鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/2	22297	3,800	3,300	
中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明 著	2020/12	20077	15,000	13,200	
歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	22257	10,000	8,800	
近世大名墓の考古学 東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/6	22276	12,000	10,600	
儒教儀礼と近世日本社会 蘭学派の『家礼』実践	松川雅信 著	2020/7	21056	10,000	8,800	
生きるための地域史—東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志 編	2020/10	22290	8,000	7,000	
日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	22266	6,000	5,300	
近世豪商・豪農の(家)経営と書物受容 —北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/2	22265	10,000	8,800	
近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害	渡辺浩一/マシュー・デーヴィス 編	2020/2	22267	7,000	6,200	
江戸日本橋商人の記録 —(くにんべん)伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	22269	11,000	9,700	
甦る「豊後切支丹史料」 —パチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	22261	12,000	10,600	
琉球船漂着者の「聞書」世界 —『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	29197	10,000	8,800	
新彰義隊戦史	大藏八郎 編	2020/9	22285	7,000	6,200	
明治の一発屋芸人たち—珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2021/1	27058	3,500	3,100	
アーネスト・サトウと蔵書の行方 —『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山騰 著	2020/11	20078	4,200	3,700	
土地の記憶から読み解く早稲田 —江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ 著/大内紀彦、フィリップ・ドル ネットィ 訳	2021/3	22299	2,700	2,400	
ロマンフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子 監修/牧野元紀 編	2020/8	22286	3,800	3,300	
スイス使節団が見た幕末の日本 ブレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ ブレンワルド日記研究会 編	2020/6	22275	9,800	8,600	
日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	22268	17,000	15,000	
日本画の所在—東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	27055	6,500	5,700	
パブリック・ヒストリー入門 —開かれた歴史学への挑戦【オンデマンド新版】	菅豊・北條勝貴 編	2021/4	82254	4,800	4,200	
新装版 唐物と東アジア —舶載品をめぐる文化交流史	河添房江・皆川雅樹 編	2021/4 二刷 (2016/2初版)	22140	2,000	1,800	
観相の文化史	相田満 著	2021/2	29203	9,000	7,900	

書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	割引価格	冊数
中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/3	29612	6,000	5,300	
宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著	2020/6	22069	4,500	4,000	
描かれたマカオ—ダーウエント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 編	2020/4	22262	22,000	19,400	
上海におけるプロテスタント 現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保 著	2020/5	21055	6,000	5,300	
ラジオの技術・産業の百年史 —大衆メディアの誕生と変遷	岡部匡伸 著	2021/3二刷 (2020/12初版)	22295	5,400	4,800	
絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/1	24014	3,200	2,800	
パリ・ノートルダム大聖堂の伝統と再生 —歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/3	31000	8,000	7,000	
メソアメリカ文明ゼミナール	伊藤伸幸 監修／嘉幡茂・村上達也 編	2021/1	22296	5,000	4,400	
現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ 2 ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ	石田勇治・川喜田敦子 編	2020/9	22513	6,000	5,300	
現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ 3 ドイツ市民社会の史的展開	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史 編	2020/9	22514	6,000	5,300	
「本読み」の民俗誌 交又する文字と語り	川島秀一 著	2020/6	23081	3,500	3,100	
メディアのなかの仏教 近現代の仏教的人間像	森寛 編	2020/5	21054	7,500	6,600	
渋沢敬三とアチック・ミュージアム —知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治 著	2020/1	22263	3,500	3,100	
荒れ野の六十年—東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤 著	2020/1	22264	3,200	2,800	
◆古典文学・文学史						
物語文学の諸相と展開	中野幸一 著	2021/3	39000	12,000	10,600	
中世和歌論—歌学と表現と歌人	中川博夫 著	2020/11	29199	12,000	10,600	
和漢朗詠集とその享受 増訂版	三木雅博 著	2021/1	29202	15,000	13,200	
真田幸弘取百韻 翻刻と解題	玉城司・小幡伍 編著	2021/2	29204	9,000	7,900	
中国古典文学に描かれた厠・井戸・簀 —民俗学的視点に基づく考察	山崎藍 著	2020/11	29200	9,000	7,900	
韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植 著	2021/2	29201	11,000	9,700	
挑発する軍記	大津雄一 著	2020/10	22292	3,800	3,300	
江戸庶民のまじない集覧 —創意工夫による生き方の智慧	長友千代治 著	2020/10	20076	6,000	5,300	
医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	20072	12,000	10,600	
水門—言葉と歴史 第二十九号	水門の会 編	2020/1	22443	3,500	3,100	
本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	2020/2	29224	3,200	2,800	
仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合 全注釈	石川一 編	2020/3	29195	10,000	8,800	
南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾 著	2020/3	22270	7,000	6,200	
幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	29196	10,000	8,800	
明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一 編	2020/1	29193	7,500	6,600	
杜甫研究年報 3 杜甫研究年報 第三号	日本杜甫学会 編	2020/5	29443	2,000	1,800	
お伽草子超入門	伊藤慎吾 編	2020/7	29188	2,800	2,500	
白居易研究年報 最終号・第20号 特集 歌舞音曲 附 日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会 編	2020/9	07098	9,000	7,900	
吉田松陰と学人たち	徳田武 著	2020/9	22291	10,000	8,800	
◆アジア遊学						
242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	22708	2,800	2,500	
243 中央アジアの歴史と現在—草原の叡智	松原正毅 編	2020/3	22709	2,400	2,100	
244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	2020/3	22710	3,200	2,800	
245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	22711	2,800	2,500	
246 和漢のコードと自然表象 —十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	22712	2,800	2,500	
247 移動するメディアとプロパガンダ —日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代 編	2020/4	22713	2,800	2,500	
248 明治が歴史になったとき 史学史としての大久保利謙	佐藤雄基 編	2020/6	22714	2,800	2,500	
249 漢学とは何か 漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城 編	2020/7	22715	2,800	2,500	
250 酔いの文化史 儀礼から病まで	伊藤信博 編	2020/8	22716	2,800	2,500	
251 仏教の東漸と西漸	荒見泰史 編	2020/9	22717	2,800	2,500	
252 中世日本の茶と文化 生産・流通・消費をとらえて	永井晋 編	2020/9	22718	2,800	2,500	
253 ポストコロナ時代の東アジア 新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平 編	2020/9	22719	2,800	2,500	
254 東アジアの歌と文字	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 編	2021/2	32500	2,800	2,500	
255 東アジアにおける知の往還	国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 共編	2021/3	32501	2,800	2,500	
◆書物学						
第18巻 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/7	20718	1,800	1,600	

中野幸一〈著〉

物語文学の諸相と展開

平安文学研究の大家による
提言や試論を集めた必読の二書。

『源氏物語』『うつほ物語』『堤中納言物語』などの
物語史を検証。

緻密な文章表現の分析により、
物語世界に新たな解釈を提示する。

『平家公達草紙』『しづくににぐる物語』『下燃物語』
『すもり物語』『しら露物語』など

新出の物語文学資料に関する論考も充実。

〈著者プロフィール〉

中野幸一（なかの・こういち）

早稲田大学名誉教授。文学博士。

専攻は平安文学。二〇一一年瑞室中経章受章。

主な編著書に『物語文学論攷』（教育出版センター、一九七一年）、『う

つほ物語の研究』（武蔵野書院、一九八一年）、『奈良絵本絵巻集』全12

巻別巻3巻（早稲田大学出版部、一九八七～一九八九年）、『常用源氏

物語要覧』（武蔵野書院、一九九五年）、『源氏物語古註釈叢刊』全十巻（武

蔵野書院、一九七八～二〇一〇年）、『フルカラー 見る・知る・読む

源氏物語』（勉誠出版、二〇一三年）、『ちりめん本影印集成 日本昔

噺篇』（共編、勉誠出版、二〇一四年）、『正訳源氏物語本文対照』

全十冊（勉誠出版、二〇一五～二〇一七年）、『正訳紫式部日記本文対照』

（勉誠出版、二〇一八年）などがある。

〈もくじ〉

はじめに

古代物語の系譜と類別——物語史の検証——

前期物語の性格——物語史の検証——

長編物語の成立をめぐる（講演）

古物語の合成発展——短編から長編へ——

『うつほ物語』の成立年代

——史実・歳事・風俗上からの考察——

『うつほ物語』の叙述の方法——長編物語への試み——

『うつほ物語』の構造

『源氏物語』の一回性人物——その消滅型と再生型——

『源氏物語』の「かざり」について

『源氏物語』の表現方法——短文表現と再叙表現——

『源氏物語』の遡及表現

『源氏物語』の依存表現

『源氏物語』における強調・感動・傍観の草子地

『源氏物語』における「夕ばえ」の解釈について

猪苗代兼載『源氏一部抜書』の資料的価値

『物語のいできはじめのおや』考

——『竹取物語』の文学史上の地位——

『源氏取り』の物語の方法

草子地攷

『紫式部日記』の時間的構造

——その回想と執筆時期について——

『堤中納言物語』の形態とその編纂意図

『堤中納言物語』をめぐる試論

——はたして短編物語集か——

六条齋院禊子内親王家の「物語合」について

——その発見時の成果の再吟味——

書陵部蔵の佚名物語一卷について

——『平家公達草紙』の残欠か——

『平家公達草紙』をめぐる

『しづくににぐる物語』考

『下燃物語』の残欠絵巻について

——後期物語の新出資料——

『すもり物語』 覚書

『しら露物語』 考

定価 一、二、一〇〇円（税込）

【本体 一、〇〇〇円】

A5判上製カバー装・五四四頁

二〇二一年四月刊行

ISBN978-4-585-39000-8 C3095

ISBN978-4-585-39000-8 C3095

ISBN978-4-585-39000-8 C3095

ISBN978-4-585-39000-8 C3095

ISBN978-4-585-39000-8 C3095

部 数

定価 13,200円（税込）/本体12,000円

A5判上製カバー装・544頁

2021年4月刊行

ISBN978-4-585-39000-8 C3095

部

物語文学の諸相と展開

中野幸一 [著]

ご送付先ご住所（通信欄）

日本古文書学会 〈編〉

古文書への招待

過去の人びとのいとなみを読み取る

長屋王家符、北条政子書状、足利義教自筆御内書、
豊臣秀吉朱印状、薩長同盟覚書裏書……

過去の人びとが書き残した「古文書」にはいったい何が書かれているのか？

古代から近代にわたる全四十五点の古文書を丹念に読み解くことで、
古文書のもつ意味、それを記述した人びとの個性、
書かれた背景をなす歴史的事件を明らかにする。

また、文章の内容のみならず、文字の書かれ方、料紙、大きさなど、
「モノ」としての古文書にも焦点を当て、その魅力に迫る。

カラー図版をふんだんに配し、

全点に翻刻・現代語訳・詳細な解説を付した

恰好の古文書入門！

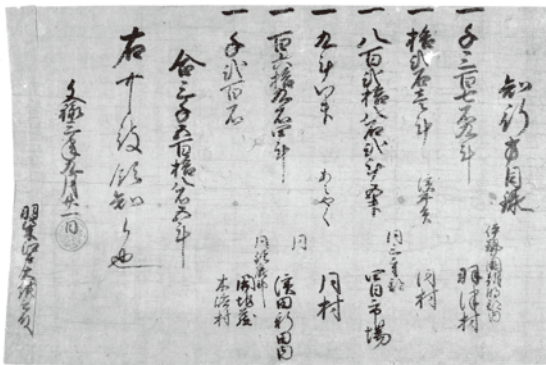
収録

①かたち

- 長屋王家符
- 他田奉部直神護解
- 太政官符
- 源頼朝寄進状
- 伊賀国黒田莊悪党人縁者交名
- 武雄社大宮司都々丸代藤原通厚軍忠状
- 足利義満書状案
- 足利義教自筆御内書
- 東寺款状
- 羽柴秀吉制札
- 徳川家康起請文
- 豊臣秀吉朱印状
- 開帳差免帳
- 交代寄合山名義蕃書置

②ひと

- 太政官符享
- 源実朝袖判下文
- 右馬允康経書状
- 某書状案断簡
- 護良親王令旨
- 大藏大輔某奉書
- 足利尊氏御判御教書
- 征西將軍宮令旨
- 今川了俊書下
- 栖雲斎威阿書状
- 白川義親書状
- 丹羽長秀書状
- 毛利輝元起請文案
- 黒田如水(孝高)書状
- 五箇条の御誓文
- 北条政子書状
- 東大寺大勧進重源自筆書状
- 高麗渤海関係某書状
- 藤原為家讓状
- 足利尊氏御判御教書
- 沙弥惠尊(小田孝朝)書状
- 足利義維御内書
- 武田信玄自筆願文
- 織田信長印判状
- 豊臣秀吉知行方目錄
- 三井八郎右衛門宛寺井庄右衛門起請文
- 薩長同盟覚書裏書(坂本龍馬筆)



豊臣秀吉知行方目錄

關地蔵院所藏

[画像提供・亀山市歴史博物館]

書名	部数
<p>古文書への招待</p> <p>日本古文書学会 [編]</p>	<p>本体3,000円(+税)</p> <p>B5判並製カバー装・176頁</p> <p>2021年1月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-22277-4 C1021</p>
ご送付先ご住所 (通信欄)	

日本古文書学会編集

古文書研究

第90号

2020年12月

本体 3,800 円(+税) B5判並製・160頁 ISBN978-4-585-22417-4 C3321 2020年12月刊行
--

歴史学をはじめ、諸分野における研究の基盤をなす古文書学。
 その最前線を伝える学術雑誌。年2回刊行。

目次

カラー口絵	
小特集「古文書学の新展開」	
まえがき	…………… 渋谷綾子
日本における古文書料紙の変遷	…………… 湯山賢一
デジタル機器を利用した楮繊維の分析	…………… 高島晶彦
カジノキのDNAはオーストロネシア人の移住と和紙の起源の物語をどのように語っているのか？	…………… 鍾國芳・張瓊之・謝佳・國府方吾郎
カジノキの遺伝的多様性は古文書の由来を解き明かせるか	…………… 石川隆二
『凶徒御退治御告文』に見る足利義満の神祇祈禱	…………… 桐田貴史
中世東寺文書における「評定引付」とその断簡等の復元	…………… 古田功治
松前城下における將軍印判状の高札掲示と幕藩関係——蝦夷地第一次上知直前まで——	…………… 上田哲司
石田実洋氏を悼む	…………… 高橋典幸
古文書めぐり 香川大学附属図書館「神原文庫」と所蔵史料について	…………… 守田逸人
随筆 北野天満宮所蔵の久我家文書記録	…………… 藤井讓治
研究余滴 治承・寿永内乱と佐竹氏	…………… 高橋典幸
書評と紹介 倉本一宏編『日記・古記録の世界』	…………… 井上政望
書評と紹介 樋口健太郎著『中世王権の形成と撰閲家』	…………… 海上貴彦
書評と紹介 松蘭斎著『中世禁裏女房の研究』	…………… 神田裕理
書評と紹介 菌部寿樹著『日本中世村落文書の研究 村落定書と署判』	…………… 高橋 傑
令和二年度新指定文化財紹介	
彙報	
口絵解説 山門結界裁許裏書絵図 一鋪／江戸幕府評定所裁許状 一通	…………… 地主智彦
英文レジュメ	

書名	部数
古文書研究 第90号 日本古文書学会 [編]	本体 3,800 円(+税) B5判並製・160頁 2020年12月刊行 ISBN978-4-585-22417-4 C3321

ご送付先ご住所（通信欄）

新装版

唐物と東アジア

船載品をめぐる文化交流史

固定的な東アジア観を超越する

唐物とよばれる船載品は、奈良から平安、そして中世や近世まで、どのように受容され、日本文化史に息づいているのだろうか。唐物交易の時代的変遷とその実態からみた異国との交流史、唐物を結節点とする漢と和の関係性への分析、人物とその権力の表象としての唐物の関係性について、美術品や歴史資料のみならず、文学資料も用いて明らかにする。

好評につき

重版

もくじ

- 序にかえて：河添房江
- 「唐物」研究と「東アジア」的視点―日本古代・中世史研究を中心として：皆川雅樹
- 日本美術としての「唐物」：島尾新
- コラム―唐物と日本の古代中世：五味文彦
- 奈良時代と「唐物」：森公章
- 上代の船載品をめぐる文化史：河添房江
- 『万葉集』と古代の遊戯―双六・打毬・かりうち：垣見修司
- 平安時代と唐物：シャルロット・フォン・ヴェアシア
- 算賀・法会の中の茶文化と『源氏物語』―書かれざる唐物：末沢明子
- コラム―唐物としての書物：小島毅
- 唐物としての黄山谷：前田雅之
- 中世唐物再考―記録された唐物：古川元也
- 戦国織豊期の唐物―唐物から名物へ：竹本千鶴
- コラム―唐物と虚栄心の話をしよう！：上野誠
- 江戸時代の唐物と日蘭貿易：石田千尋
- 琉球使節の唐旅と文化交流：真栄平房昭

新装版 あとがき：皆川雅樹
執筆者一覧

※本書は、『唐物と東アジア』（アジア遊学147号）の品切にともない、新装刊行した書籍になります。



青磁香炉
中国・元時代 | 称名寺蔵

本体 2,000円(+税)

A5判並製カバー装・208頁

2021年4月刊行

ISBN978-4-585-22140-1 C1021

河添房江・皆川雅樹 [編]

「かわぞえ・ふさぎ」一九五三年生まれ。東京学芸大学教育学部教授。平安文学を専攻。古典文学と東アジア関係を研究。主著に『源氏物語時空論』（東京大学出版会）『唐物の文化史』（岩波新書）など多数。「みながわ・まさき」一九七八年生まれ。専修大学附属高等学校教諭。専門は日本古代史。古代東アジアの交流史と政治・文化史との連関などを研究。主著に『日本古代王権と唐物交易』（吉川弘文館）など。

書名	部数
新装版 唐物と東アジア ―船載品をめぐる文化交流史 河添房江・皆川雅樹 [編]	部
本体2,000円(+税) A5判並製カバー装・208頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-22140-1 C1021	
ご送付先ご住所（通信欄）	

増補改訂新版

日本中世史入門 論文を書こう

本体二、八〇〇円(+税)
A5判並製カバー装
六〇八頁・二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-22280-4 C0021

国士館大学文学部教授

秋山哲雄

国立歴史民俗博物館・
総合研究大学院大学准教授

田中大喜

共愛学園前橋国際大学教授

野口華世

〈編〉

2014年刊行の
日本中世史入門
好評につき、
大幅増補・改訂して
絶賛発売中!
240頁増!

歴史を学び、 考えるために

「歴史」はたんに過去の出来事をわれわれに伝えるのではなく、
現代そして未来の人々の動向を規定する「力」を持っている。
そこに学問として歴史を学ぶ意義が存在している。
それでは、われわれはどのように歴史と対話すべきなのか――
歴史学の基本である論文執筆のためのメソッドと観点を
日本中世史研究の最新の知見とともにわかりやすく紹介、
歴史を学び、考えることの醍醐味を伝授する。

卒論・修論の執筆、指導にも最適!

まえがき：秋山哲雄・田中大喜・野口華世

I 「歴史学」を学ぶということ

II 論文を書こう——歴史学研究の方法を学ぶ

III 日本中世史研究の現在

中世摂関家論●中世的権門としての摂関家：高松百香
院政論●政治史と家族史の融合：佐伯智広
平家政権論●平家政権論の軌跡とこれから：前田英之

中世前期国家財政論●税制・財政史から中世国家・社会の成立を考えるために：守田逸人

荘園史研究●中世天皇家の荘園の意味を考える：野口華世

中世武士論●中世武士のとりえ方はどう変わったか：伊藤瑠美

鎌倉幕府論●中世の特質を明らかにする：秋山哲雄

鎌倉幕府武士論●鎌倉幕府を支える様々な人々：赤澤春彦

鎌倉期守護論●幕府による全国統治の実態に迫る：西田友広

中世前期法制史研究●鎌倉幕府の法と裁判へのまなざし：木下竜馬

鎌倉幕府御家人制論●鎌倉幕府御家人制が中世後期に遺したものは：清水 亮

中世武士団論●中世の武士と社会の特質を考える：田中大喜

朝廷下級官人論●朝廷を支える官僚システム：遠藤珠紀

室町殿論●新たな権力者像の発見：大田壮一郎

室町期守護論●室町期守護論の「これまで」と「これから」：大藪 海

中世後期法制史研究●室町幕府法からみた中世後期の「法」の特質：松園潤朗

中世寺院史●中世寺院と顕密体制を考える：石田浩子

中世村落・環境史●生活の舞台としての村落をどうとらえるか：高木徳郎

中世交通・流通論●水陸のみちを考える：藤本頼人

中世都市論●都市の輪郭について考える：三枝暁子

中世身分論●身分と集団から中世社会を考える：辻 浩和

中世東国史研究●地域史と国家史のあいだで：植田真平

中世日本・東アジア交流史●外国との関わりを考える：伊川健二

中世日本境界領域論●東アジア交流の玄関口としての境界領域：荒木和憲

古文書学を学ぶ人のために●史料論の時代における古文書学の可能性：佐藤雄基

中世絵画史料論●絵画にかくされたもうひとつの日本文化：黒田 智

中世考古資料論●中世考古学の方法：村木二郎

執筆者一覧
あとがき：増補改訂版の刊行に寄せて……秋山哲雄・田中大喜・野口華世
研究概念・用語索引

書名	部数
増補改訂版 日本中世史入門——論文を書こう 秋山哲雄・田中大喜・野口華世〈編〉	本体3,800円(+税) A5判並製カバー装・608頁 2021年2月刊行 978-4-585-22280-4 C0021
ご送付先ご住所（通信欄）	

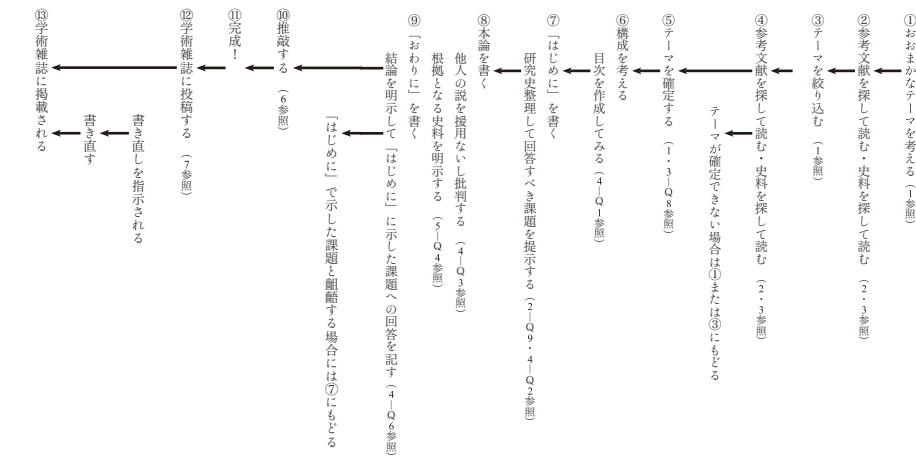
「Ⅱ論文を書く」では、論文執筆から投稿までのプロセスをフローチャートでわかりやすく紹介。各段階で押さえておきたいポイントはQ&A方式で詳しく説明。

●頁見本

はじめに

論文を書くという作業は、これまで進めてきた研究を文章としてまとめて新見を学界に問い、学問の進展に寄与することである。それだけに論文は、すぐに書けるものではない。ねばりつ参考文献や史料向きを合せてテーマを絞り、どうすれば自分の主張を説得力のあるものにできるかを熟考して構成を考え、史料を深く読み込んで我田引水とならないよう本論を慎重に書き進め、読者に自分の意図が伝わるよう丁寧な文章を推敲し、全体に矛盾がないかを広い視野で見直し、ようやく書き上がるものがある。おまかなフローチャートを左に示したので、まずはこれを参照しながら、後につづく項を読み進めていきたがたい。迷ってもそれぞれの項目を何度でも確認して、必ずや納得できる論文書き上げることができるはずである。なお、論文を書く方法は幾通りもあるだろうし、人によっても異なる。ここで示すのは、その中の一般的な書き方のひとつであることを断っておく。

【論文の書き方フローチャート】



4 構成を考える

Q1 書く前にまずやることは？

1でテーマを決め、2・3でそのテーマに関する参考文献や史料を読んだら、ようやく論文執筆できる段階となる。論文を書く前には、まず全体の目次を考えることをお勧めする。目次は、当然のことながら、書き進めていくうちに変わることもあるが、最初におおまかな目次(「流れ」)を考えておくと、論文の筋道が整理できて、わかりやすい論文を書くことができる。

目次は、「はじめに」本論「おわりに」という構成をとることが多い。本論は、3章から4章の構成にする双方と、書きやすいだろう。また、それぞれの章の中を、さらにいくつかの節にわけると、読む側・書く側の双方にとって、わかりやすい内容になる。たとえば、「例1」「例3」のような目次が考えられ、すでに読んだ参考文献や史料を、どの章や節で引用するかを考えながら目次をふくらませていけば、論文の形に近づいていくはずである。まずは目次をしっかりと考えよう。

【例1】

- 【武士団結合の複合的展開と公武権力】
- はじめに
 - 第一章 族縁的結合と地域的結合
 - 第一節 鎌倉期武士団の一族結合
 - 第二節 本領の形成と地域的結合
 - 第三節 町場と地域的結合
 - 第四節 小括
 - 第二章 一族結合と惣領制
 - 第一節 惣領制の形成と展開
 - 第二節 惣領職の成立
 - 第三節 家督と惣領
 - 第四節 小括
 - 第三章 南北朝・室町期の武士団と荘園制
 - 第一節 南北朝内乱と領地の所領の形成
 - 第二節 室町幕府の戦争Ⅱ荘園政策と武士団
 - 第三節 室町期の荘園制と惣領制
 - 第四節 小括
 - おわりに

【例2】

- 【鎌倉と鎌倉幕府】
- はじめに
 - 第一章 鎌倉と鎌倉幕府の「独立」過程
 - 第一節 鎌倉幕府の成立と鎌倉
 - 第二節 鎌倉と鎌倉幕府の「独立」
 - 第三節 小括
 - 第二章 鎌倉の求心力
 - 第一節 裁許の求心力
 - 第二節 経済の求心力
 - 第三節 宗教の求心力
 - 第四節 小括
 - 第三章 鎌倉の多核化
 - 第一節 持軍求心力の変化
 - 第二節 鎌倉の「地子」と「地主」
 - 第三節 鎌倉の「宿所」
 - 第四節 小括
 - おわりに

【例3】

- 【中世前期公家社会の変容】
- はじめに
 - 第一章 女院領とその意義
 - 第一節 女院領の成立
 - 第二節 御願寺の継承とその意義
 - 第三節 小括
 - 第二章 鎌倉前期の知行者と後鳥羽院
 - 第一節 鎌倉期の安楽門院による継承
 - 第二節 後鳥羽院による知行者の改善
 - 第三節 知行者改善の要因とその影響
 - 第四節 承久の乱後の知行者の論理
 - 第五節 小括
 - 第三章 鎌倉後期の知行者の再編
 - 第一節 安楽寿院の再編
 - 第二節 魚山院による知行者の再配置
 - 第三節 知行者再配置の意味
 - 第四節 安楽寿院知行者のその後
 - 第五節 知行者の家領形成
 - 第六節 小括
 - おわりに

Q2 「はじめに」で書くべきことは？

「はじめに」では、論文で扱うテーマに関する研究史の整理を行う。研究史整理を通して、現時点までに明らかにされてきたこと、そして現時点で課題として残されていることを、自分なりにまとめることになる。これによって、論文の課題を明示することができるのである。研究史整理は、論文を書くにあたってのもっとも重要な出発点であり、準備は入念に行わなければならない。準備の際に必要な参考文献・先行研究や史料の収集については、2・3を参照のこと。

「はじめに」で提示した課題が、結論と照らして見れば、結論にあわせて「はじめに」を書き直すことがあれば、結論に書き直すことになるとしても、論文は書いていく最中に方向性を見失わないように、まずは「はじめに」から書きはじめた方が無難だろう。なお、これまで研究がなされていないテーマで論文を書くこともあるだろう。その場合には、研究史がないことを指摘したうえで、なぜそのテーマを研究すべきなのか、その意義を記そう。

●頁見本

7つの段階に対応した43のQ&A

1 テーマを決める

- Q1 レポートと論文の違いは？
- Q2 テーマを決める要素は？
- Q3 論文にふさわしくないテーマは？
- Q4 興味を持つていることが絞れないときは？
- Q5 主要な通史類、講座類は？
- Q6 最近の研究動向を知るには？
- Q7 テーマを決める方法は？

2 参考文献を読む

- Q1 参考文献とは？
- Q2 ふざわい書籍とは？
- Q3 書籍を探すには？
- Q4 研究論文とは？
- Q5 学術雑誌とは？
- Q6 研究論文を探すには？
- Q7 研究論文を入手するには？
- Q8 参考文献の読み方は？
- Q9 参考文献を読むときに気をつけることは？
- Q10 参考文献を活用するには？

3 史料を読む

- Q1 史料とは？
- Q2 古文書を探すには？
- Q3 古記録や編纂物を探すには？
- Q4 地域の史料を集めるには？
- Q5 史料を読む前にすることは？
- Q6 史料を読むには？
- Q7 史料を読むときに気をつけることは？
- Q8 参考文献と史料を読んだ後は？

4 構成を考える

- Q1 書く前にまずやることは？
- Q2 「はじめに」で書くべきことは？
- Q3 本論で目指すことは？
- Q4 史料などを適切に引用するには？
- Q5 史料を引用する場合の注のつけ方は？
- Q6 「おわりに」で注意すべきことは？

5 注(註)をつける／史料を引用する

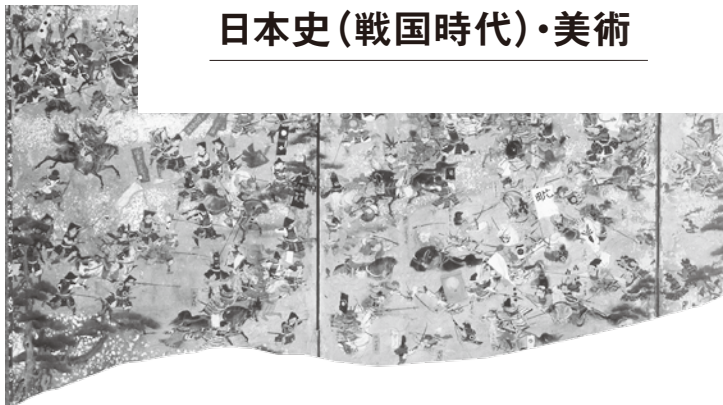
- Q1 なぜ注をつけるのか？
- Q2 どのようなときに注をつけるのか？
- Q3 先行研究を引用する場合の注のつけ方は？
- Q4 史料を引用する場合の注のつけ方は？
- Q5 史料を引用する際に注意すべきことは？
- Q6 一次史料と二次史料の違いは？

6 推敲する

- Q1 推敲するとは？
- Q2 文章を見直すときのポイントは？
- Q3 文章を見直すときのポイントは？
- Q4 誤解されない文章を書くには？

7 投稿しよう

- Q1 どうやって投稿するのか？
- Q2 投稿すれば必ず掲載されるのか？



戦国合戦図屏風の歴史学

高橋 修 [著]

点数版図
223点

豪華絢爛！細密の極致！
「戦国合戦図屏風」はなぜ作られたのか？

「川中島合戦図屏風」
「長篠・長久手合戦図屏風」
「関ヶ原合戦図屏風」など、
主要作品20数点を、
歴史学の視点から丹念に読み解き、
図像的特徴や成立背景、
写本の普及と合戦像の定着、
後世の評価について明らかにする。
長年、合戦図屏風を追究してきた
著者による研究成果の集大成。

【著者紹介】

高橋 修 (たかはし おさむ)

茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本中世史。主要著書に『中世武士団と地域社会』(清文堂出版、二〇〇〇年)、『図説戦国合戦図屏風の世界』(監修、学研、二〇〇二年)、『異説』もうひとつの川中島合戦―川中島合戦図屏風の発見(洋泉社、二〇〇七年)、『熊谷直実 中世武士の生き方』(吉川弘文館、二〇一四年)、『信仰の中世武士団―湯浅一族と明恵』(清文堂出版、二〇一六年)などがある。

【目次】

カラー口絵
序 論…「戦国合戦図屏風」の世界

第一部◎「川中島合戦図屏風」と甲越軍学

第一章…紀州本「川中島合戦図屏風」と紀州徳川家
第二章…軍学者宇佐美定祐について
—紀州本「川中島合戦図屏風」の周辺
第三章…甲越軍学の軌跡
—山本勘助と宇佐美駿河守を生み出したもの

〔補説〕…享保二年(一七一七)四月十五日付
栗林次郎左衛門(政盛)宛大河原重祐要門流印可状

第四章…山本勘助と『甲陽軍鑑』
〔補説一〕…狩野文庫の杉山家資料

〔補説二〕…「武田信玄配陣図屏風」と「武田信玄本陣之図」について
第五章…米沢市上杉博物館蔵「川中島合戦図屏風」
—画面構成と成立背景

第六章…ミュージアム中仙道蔵「川中島合戦図屏風」の
図像的特徴と成立背景—公武協調の時代と「上杉謙信」

第二部◎「長篠・長久手合戦図屏風」

第七章…「長篠・長久手合戦図屏風」の概要と論点

第八章…「長久手合戦図屏風」の成立と展開

第九章…「長篠合戦図屏風」を読む

第十章…尾張・紀伊兩徳川家における小牧・長久手合戦の研究と顕彰

第十一章…豊田市郷土資料館蔵「長篠・長久手合戦図屏風」の
図像的特徴と成立背景

第三部◎「合戦図屏風」の諸相

第十二章…「賤ヶ岳合戦図屏風」と「川角太閤記」

第十三章…「蔚山合戦図屏風」(朝鮮軍陣図屏風)の成立と展開

第十四章…和歌山県立博物館蔵「壬辰倭乱図屏風」について

第十五章…「関ヶ原合戦図屏風」の概要と研究の現状

第十六章…「長谷堂合戦図屏風」

第十七章…「湊川合戦図屏風」の世界

第十八章…「結城合戦絵詞」とは何か

補 論…その他の作品の手引き

総 論…総括と課題

戦国合戦図屏風所在一覧
あとがき／初出一覧／索引

本体 9,000 円(+税)

A5判・上製カバー装
カラー口絵32頁+本文496頁
ISBN978-4-585-22301-6 C3021
2021年2月発売

書 名	部 数
戦国合戦図屏風の歴史学 高橋 修 [著]	部
本体 9,000 円(+税) A5判・上製カバー装 カラー口絵32頁+本文496頁 2021年2月発売 ISBN978-4-585-22301-6 C3021	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

藤本幸夫

〔編〕

（ふじもと・ゆきお）富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞、恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究 集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡（鑑）研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究 史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

書物・印刷・本屋

図版点数
390超

日中韓をめぐると本の文化史

- 第一部 書物のかたち・書物のジャンル
- 第二部 印刷・活字・技術
- 第三部 本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、全国各地に於いて民間の商業出版——坊刻本——の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

- 書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- 書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
- 学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- 390点を超える貴重な図版資料を収載。

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

定価一七、六〇〇円（税込）

（本体一六、〇〇〇円）

B5判上製カバー装・八九六頁

二〇二一年六月刊行

ISBN978-4-585-30002-1 C3000

執筆者一覽

- 第一部：佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤至子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
- 第二部：住吉朋彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
- 第三部：鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書名	部数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐると本の文化史	定価17,600円・本体16,000円 B5判上製カバー装・896頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-30002-1 C3000
藤本幸夫 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

〈詳細目次〉

序文……………藤本幸夫

●第一部——書物のかたち・書物のジャンル

- 佐々木孝浩……………〈古写本〉日本の写本——装訂を中心として
- 柏崎順子……………〈江戸版〉初期出版界の様相
- 木村八重子……………〈草双紙〉「草双紙」の史的展望
- 棚橋正博……………〈黄表紙〉黄表紙
- 佐藤至子……………〈合巻〉合巻における自主規制
——「三国太郎再来伝」から「現世扶桑太郎」へ
- 鈴木圭一……………〈中本（人情本）〉中本二編三冊意識
- 石上阿希……………〈春画・艶本〉「書籍目録」にみる枕絵と好色本
- 大久保純一……………〈錦絵〉錦絵とは
- 湯浅淑子……………〈おもちゃ絵〉江戸のおもちゃ絵
- 鈴木俊幸……………〈草紙類〉上方の草紙類をめぐる
- 万波寿子……………〈仏書〉日本の仏書
- 鈴木達彦……………〈医書〉日本漢方の特質と日本医書

●第二部——印刷・活字・技術

- 住吉朋彦……………〈宋版・元版〉宋元版研究の道程
- 堀川貴司……………〈五山版〉五山版をどう考えるか
- 長澤孝三……………〈和刻本〉「和刻本」について
- 豊島正之……………〈キリシタン版〉キリシタン文獻
- 林進……………〈古活字版〉角倉素庵はなぜ出版事業を興したのか——近世初頭、草創期の古活字版
- 高木浩明……………〈古活字版〉古活字版から整版へ、整版から古活字版へ
- 森上修……………〈古活字版〉古活字版印刷と木活字駒の彫出技法
- 小秋元段……………〈出版史料としての反古〉東北大学附属図書館漱石文庫所蔵古活字版『太平記鈔・音義』表紙の復元的考察
- 渡辺守邦……………〈出版史料としての反古〉表紙裏反古・再考
- 橋口侯之介……………〈彫りと摺り〉彫師摺師から見た日本の出版形態
- 永井一彰……………〈版木〉板木の節

●第三部——本屋・商業出版・蔵書

- 鈴木俊幸……………〈日本近世の本屋〉本屋と出版——江戸時代における書籍文化の特質
- 塩村耕……………〈日本近世前期の商業出版〉近世前期の出版界と西鶴
- 長友千代治……………〈貸本屋〉貸本屋の横顔
- 岡村敬二……………〈蔵書・蒐書（日本）〉蔵書家の索引、蔵版、蔵書の行方
- 大沼晴暉……………〈蔵書・蒐書（日本）〉田中さんのおもちゃ箱——小平市立図書館蔵本
- 大沼晴暉……………〈日中韓の商業出版〉日中韓坊刻本の比較研究或いは此等二か国書物の比較研究のために
- 大木康……………〈中国の商業出版〉中国書肆史考——近世を中心に
- 大塚秀高……………〈中国の商業出版〉坊刻本と物語——口頭の物語の出版について
- 金文京……………〈中国の商業出版〉明代建陽の商業出版と通俗小説
- 上原究一……………〈中国の商業出版〉明末清初の坊刻における江西の位置付けについて
- 高橋智……………〈蔵書・蒐書（中国）〉中国の蔵書家について
- 藤本幸夫……………〈朝鮮の商業出版〉朝鮮坊刻本攷
- 李胤錫……………〈朝鮮の商業出版〉朝鮮朝出版における坊刻本の性格と位置
- 全相豆……………〈朝鮮の商業出版〉坊刻本「春香伝」の発生とその変貌について

あとがき……………藤本幸夫
執筆者覧

日本語 文字論の

挑戦

表記・
文字・

文献を考えるための
17章



ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字等、
世界的にも珍しい多文字種環境を有する日本語。
古来、日本人にとって「文字」は、
意思疎通のための情報ツールであると同時に、
彼我の文化に架橋するための媒体であった。
古代から現代までを視野に
「書く」「読む」「学ぶ」「残す」という文字の諸機能に着目し、
日本語における「文字論」の豊富な世界を示す初めての一冊。

加藤重広・岡墻裕剛 〈編〉

かとう・しげひろ ●一九六
四年生まれ。北海道大学文
学研究院教授(言語科学研
究室)。専門は日本語学・言
語学。著書に『日本語統語特
性論』(北海道大学出版会、
二〇一三年)、『言語学講義』
(筑摩書房、二〇一九年)な
どがある。

おかがき・ひろたか ●一九
八〇年生まれ。神戸女子大
学文学部日本語日本文学科
准教授。専門は日本語学表
記・漢字。著書に『B・H・
チェンバレン』(文字のしる
べ)『影印・研究』(編著、勉誠
出版、二〇〇八年)などがあ
る。

もくじ

まえがき 〔岡墻裕剛〕

第1部：言葉はどう書くか

日本語の表記システムとその特徴

近・現代小説の片仮名の用法一斑

古代中国語における漢字の表語現象の諸相 〔松江崇〕

平安時代の真仮名「乾善彦」

第2部：文献をどう読むか

訓点研究「超」入門 〔小助川貞次〕

篆隸万象名義における漢文節の意味注記について 〔李媛〕

図書寮本『類聚名義抄』における掲出語と注文の対応について 〔申雄哲〕

辞書と文献の比較に基づく定訓論の再検討

——キリタン版『落葉集』と『きやとべか』を中心として 〔白井純〕

第3部：文字をどう学ぶか

『文選』の学習——訓点資料を通して見えてきたこと 〔渡辺さゆり〕

字ひの系譜とその豊饒——江戸寺子屋教科書往来物資料を中心に 〔萩原義雄〕

変体仮名を学ぶ小学生 〔岡田一祐〕

米国防海軍日本語学校の漢字教材『kanji book』 〔高田智和〕

第4部：文化をどう残すか

京都の「天橋立」を表す日本製漢字の展開と背景

——「邏」(邏)を中心に 〔笹原宏之〕

『蝦夷記』のアイヌ語申渡文における仮名の用法 〔佐藤知己〕

〔S仮名と〕J仮名をめぐるといづつかの問題 〔富山日出夫〕

漢字字体研究と日本古辞書データベースの構築 〔池田証壽〕

あとがき 〔加藤重広〕・執筆者一覧

定価七、七〇〇円(税込)

〔本体七〇〇〇円〕

A5判並製カバー装・四三三頁
二〇二一年三月刊行
ISBN978-4-585-38000-9 C3081

<p>書名</p> <p>日本語文字論の挑戦</p> <p>表記・文字・文献を考えるための17章</p> <p>加藤重広・岡墻裕剛 〈編〉</p>	<p>部数</p> <p>定価7,700円(税込)・本体7,000円</p> <p>A5判並製カバー装・432頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-38000-9 C3081</p> <p>部</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉

編 【アジア遊学254】

東アジアの歌と文字

声から文字へ、文字から声への往還

声の歌が文字化されたのはいつからだろうか。また、文字との出会いによって声の歌はどう変化したのだろうか。日本古代の『古事記』や『万葉集』、近世琉球の『おもろさうし』、中国少数民族の歌垣など、東アジアの様々な時代・地域・民族において創作されてきた歌表現の文字資料を、文学・民俗学・文化人類学の分野から検討し、声と文字との共存・影響関係、豊かな歌文化の諸相を明らかにする。

【目次】

【序言】東アジアにおける歌と文字の出会い ●真下 厚

【総論】中国辺境民族の歌と文字のかかわり ●遠藤耕太郎

【総論】琉球歌謡の文字との出会い
——『おもろさうし』の記載法を中心に ●波照間永吉

I 日本古代における歌と文字

歌における声と文字の出会いと共存 ●岡部隆志

古代の歌の命

——ある手法の変貌について ●エルマコワ・リュドミラー

II 琉球王国・沖縄における歌と文字

琉球王国・沖縄における歌と文字 ——おもろさうし ●照屋 理

琉歌と南琉球の抒情歌の文字記録 ●波照間永吉

南島歌謡の記録と伝承の諸相 ——竹富島の巻唄をめくって ●狩俣恵一

III 中国少数民族における歌と文字

壮族の掛け合いにおける声と文字 ●手塚恵子

ペー祭文における声と文字の往還 ●遠藤耕太郎

中国湘西苗族の歌と文字 ●真下 厚

IV 資料紹介

宮古の古謡と神歌 ●本永 清

ペー族の祭文 ●遠藤耕太郎

必定才前途
一路布教心
也布即檢抄
記肝靴往住
仲怪吉小妹
嘉哈礼托佐
男女可分浮
勞伝詳是節
山伯吐双泡
刺鼓花凍滄
鶴門也添朱
登一路蓋花
到道橋赤靴
香落山字了
鶴舞坊途鶴

【編者紹介】

真下 厚 (ましもとあつし)

元立命館大学教授。専門は日本古代文学・民俗学。

主な著書に『歌を掛け合う人々 東アジアの歌文化』(共著、三弥井書店、二〇一七年)などがある。

遠藤耕太郎 (えんどうこうたろう)

共立女子大学文芸学部教授。

専門は日本古代文学と中国少数民族文化。

主な著書に『万葉集の起源—東アジアに息づく抒情の系譜—(中公新書、二〇一〇年)などがある。

波照間永吉 (はてるまえいきち)

名城大学大学院国際地域文化研究科(後期博士課程)。

専門は歌謡呪。

主な編著書に『定本 おもろさうし』(外間守善と共編著、角川書店、二〇〇二年)、などがある。



本体 2,800円(+税)
A5判並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-32500-0 C1390
2021年2月刊行

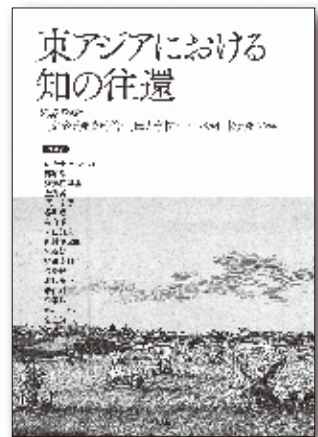
書名	東アジアの歌と文字 【アジア遊学No.243】 真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 [編]	部数	1部
本体価格	2,800円(+税)	ISBN	ISBN978-4-585-32500-0 C1390
発行	2021年2月刊行	ページ数	208頁
送料	ご送付先ご住所(通信欄)		

国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院

〔共編〕

東アジアにおける知の往還

〔アジア遊学255〕



東アジアにおける知の動態を明視する

気候危機にパンデミック、市民間の分断…。生命をも脅かす大きな困難が次々に起こる現代、我々はいかにして大量の情報を「個」として的確に受け止め、判断の材料に変換できるのか。そのための「知」を下支えするものの根拠を豊富な文献に求め、歴史的経験を留めた表現の集合体から照射することで新規の問いかけに繋げる。文学史、美術史、思想史、歴史学、アーカイブズ学など、多面的な視角から、東アジアにおける知の往還を描き出す。

〔目次〕

序

刊行によせて●ロバートキャンベル

刊行によせて●鄭炳浩

本書の企画と構成●齋藤真麻理・金秀美

I 書物と文化

『栄花物語』と朝鮮王朝の宮廷文学

——『閑中録』との比較を中心として●桜井宏徳

遺稿集の季節——二十世紀前半の日本の言説編制●谷川恵一

近代日本の元寇図と『蒙古襲来絵詞』●金容澈

（コラム）絵画と文字の表現コード

——『源氏物語絵巻』を読み解く●金秀美

（コラム）奈良絵本と『徒然草』

——ジャンルを往還するメディア●齋藤真麻理

（コラム）正方形の本をめぐる●入口敦志

II 記録と記憶

日本と韓国の災難文学と記憶

——セウオル号沈没事件と東日本大震災の災難詩を中心として●鄭炳浩

近代福島県富岡町小良ヶ浜の文書管理——複合災害・縁故地・区有文書●西村慎太郎

（コラム）『三国遺事』を巡るいくつかの知見について●宋洗範

言語と滅刑——森鷗外『高瀬舟』において●野網摩利子

（コラム）在日朝鮮人「帰国事業」の記録と記憶の文学●金季杼

III 都市という舞台

江戸における巨大寺院の復興と講中——築地本願寺の場合●渡辺浩一

日本の伝統詩歌に描かれた大都會の風土●嚴仁卿

（コラム）『京城日報』と近代都市京城の表象

——横光利一の満鉄招請文学講演旅行と「天使」を中心に●金孝順

パリが主人公

——レティフとメルシエの作品とパリの文学的神話の誕生●ギョーム・カレ

（コラム）日韓の西洋探偵小説における都市表象

——エミール・ガボリオの『ルージュ事件』を中心に●倉在真

定価 3,080 円(税込) 本体 2,800 円
A5 判並製カバー装・200 頁
ISBN978-4-585-32501-7 C1395
2021年4月刊行

書名	東アジアにおける知の往還 【アジア遊学No.243】 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 〔共編〕	部数	部
ご送付先ご住所（通信欄）			

江戸川乱歩

ENCYCLOPEDIA OF
RAMPO EDOGAWA

大事典

稀代の推理小説作家、江戸川乱歩。

死後五十年を経て、未だ我々を魅了し続ける乱歩の創作・思考の背景にあるものはいったい何か。乱歩の形成した人的ネットワーク、そして彼の生きた戦前戦後という時代と文化事象、出版文化の展開とともに花開いた様々な雑誌メディアなど、総勢七十人に及ぶ豪華執筆陣のナビゲートにより

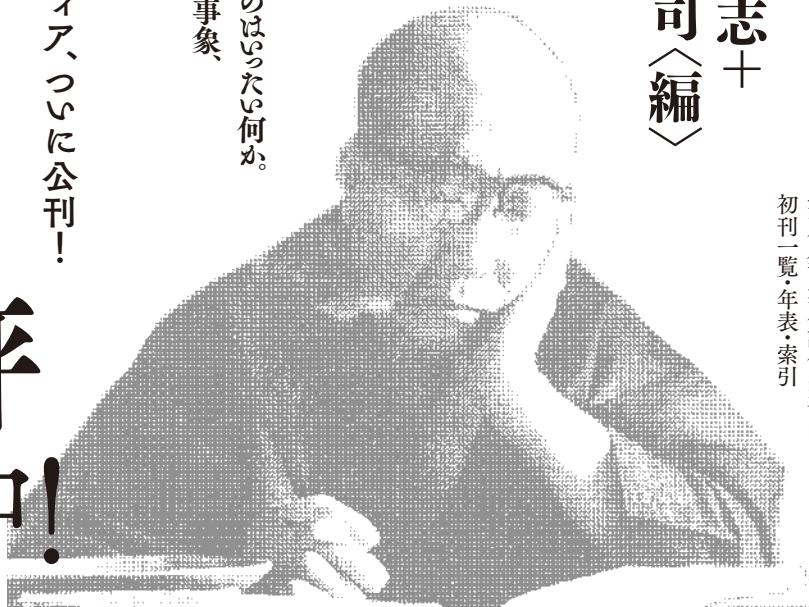
乱歩ワールドの広がりを感じていただける本邦初のエンサイクロペディア、ついに公開！

落合教幸＋阪本博志＋
藤井淑禎＋渡辺憲司〈編〉

定価 13,200円(税込)
菊判上製・912頁
2021年3月、
堂々刊行！
ISBN978-4-585-20080-2 C1000

目次

- 〔第一部〕人間乱歩
- 〔第二部〕社会
- 〔第三部〕ミステリー
- 〔第四部〕メディア
- 〔付録〕江戸川乱歩小説作品初出初刊一覧・年表・索引



週刊読書人

4/9発売号に、

刊行記念記事掲載！

有栖川有栖氏、

佐野史郎氏、

ご寄稿！

大好評 発売中！

書名	部数
江戸川乱歩大事典 落合教幸＋阪本博志＋藤井淑禎＋渡辺憲司(編)	部
定価13,200円(税込) 定価12,000円(+税) 菊判・上製カバー装・912頁 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-20080-2 C1000	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025



おおよそいうち

大宅壮一文庫解体新書

雑誌図書館の全貌とその研究活用

阪本博志〔編〕

大宅壮一文庫、開設50周年！ 文庫の全てに迫る！

大宅壮一が収集した膨大な雑誌のコレクションを
基礎として設立された大宅壮一文庫。

二〇二二年、開設から五〇年を迎える大宅壮一文庫について、
概要から、その誕生の歴史、そして文庫を活用した
研究の実践例まで、すべてを網羅した解説書。

＊大宅壮一（一九〇〇―一九七〇）とは：

日本のジャーナリスト、ノンフィクション作家、評論家。時代の風潮を
見事に裁断する独特な社会評論や人物評論で、長くマスコミ界で
活躍。明快な是非論で広く一般大衆の支持を得た。また、「一億
総白痴化」、「恐妻」、「ロコミ」など、多数の造語を生んだ。

本書の特色

①「雑誌の図書館」大宅壮一文庫の概要、歴史、利用方法などを、詳細に解説。

②実際に大宅壮一文庫を活用している執筆者陣が、文庫を利用することでどういったことが見えてくるかをまとめた論考を収録。

編者プロフィール

阪本博志（さかもと・ひろし）

帝京大学文学部社会学科教授。専門は社会学・メディア史・出版文化論。主な著書に『平凡』の時代―一九五〇年代の大衆娯楽雑誌と若者たち（昭和堂、二〇〇八年）、第30回日本出版学会賞奨励賞・第18回橋本峰雄賞、『江戸川乱歩大事件（落合教幸・藤井淑慎・渡辺憲司との共編）勉誠出版（二〇二二年）などがある。

定価 三、八五〇円（税込）・本体 三、五〇〇円

A5並製カバー装・三〇〇頁

二〇二二年五月刊行

ISBN978-4-585-30001-4 C1000

目次

第一章

索引的思考

カラー口絵／はじめに◎大宅映子／本書の構成◎阪本博志
（無思想人）大宅壮一における知の技法◎有馬学
コラム① ノーパン喫茶と大宅文庫
――週刊誌がおしえてくれること、くれないこと◎井上章一

第二章

大宅壮一と大宅壮一文庫◎阪本博志

①大宅壮一文庫の誕生◎大宅壮一文庫の発展◎大宅壮一文庫のこれから
コラム② 大宅文庫について思うこと◎三鬼浩子

第三章

雑誌の図書館 大宅壮一文庫

その所蔵資料と利用方法◎鴨志田浩
①大宅壮一文庫の概要◎大宅壮一文庫の迷宮書庫
②大宅壮一文庫の出版物◎大宅壮一文庫の索引・検索システム
③大宅壮一文庫の資料閲覧と各種サービス
コラム③ 長持としての大宅文庫◎永井良和

第四章

大宅壮一文庫の活用(1) 横断的研究

雑誌アーカイブ大宅壮一文庫――その現在と未来◎前島志保
二世紀における大宅文庫の可能性◎鳥羽耕史
受験・教育雑誌と文学――大宅壮一文庫所蔵誌をきっかけとして◎大原祐治
出版社系週刊誌の誕生――週刊新潮と文学との関わりを中心に◎加藤邦彦
コラム④ 「心の時代」をもう一度可視化するか◎牧野智和

第五章

大宅壮一文庫の活用(2) テーマ研究

大宅壮一文庫雑誌記事索引にみる性風俗の歴史
――トルコ風呂の元祖「東京温泉」を例に◎光石亜由美
寄せ場の表裏――大衆雑誌にみる高度経済成長期の「山合」◎石川巧
話を残す――漫才作者秋田実と雑誌◎後藤美緒
コラム⑤ 書物のない場所――戦後文学に描かれた「書物」◎多田蔵人
あとがき◎阪本博志



書名	部数
おおよそいうち 大宅壮一文庫解体新書 雑誌図書館の全貌とその研究活用 阪本博志〔編〕	
ご送付先ご住所（通信欄）	部
定価 3,850円（税込）・本体 3,500円	
A5判並製カバー装・300頁	
ISBN 978-4-585-30001-4・C1000	
2021年5月刊行	